



「あなたのことも心配です」と

中京区にあるゆう薬局の薬剤師Pさんは新卒で全国チェーン薬局に入社。ところが患者さんとの余計な会話は厳禁、薬を渡すだけのマニュアル仕事に疑問を感じて2年で離職、3年前にゆう薬局に転職しました。「ここでは患者さん一人ひとりに寄り添うことができるのがうれしいです」。

昨夏、この思いを強くする出会いがありました。大学生の長男が統合失調症と診断され、薬をもらいにきた林さん（仮）。開口一番、「この薬、大丈夫なの？」と不安を口にする林さんに、Pさんは統合失調症は薬で多くの患者さんが回復していること、眠気など副作用があればいつでも相談にのる旨を、ていねいに伝えました。

次の処方時にPさんを指名した林さん、「息子の病気は私のせいなんです！」と嘆くではありませんか。コロナ禍で外出を注意したのが本人のストレスになり、病を発症したと言います。取り乱す林さんにPさんは「そんなに自分を責めないで。あなたのことも心配です」。すると林さんはハッとし

た顔になり、「ありがとうございます。そんなふうに気遣ってもらうのは初めて」と涙をぽろぼろと流しながら帰ったそうです。

以来、林さんはPさんを信頼し、「忙しい医師には言えない」ことも打ち明けてくれます。たとえば「息子の体重が増えた」。Pさんは副作用も疑い、すぐ医師に連絡。医師の「副作用ではないので、適度な運動を」との回答を林さんへ。医師と患者の間のコミュニケーションをつなぐのも、ゆう薬局の薬剤師の仕事のひとつなのです。

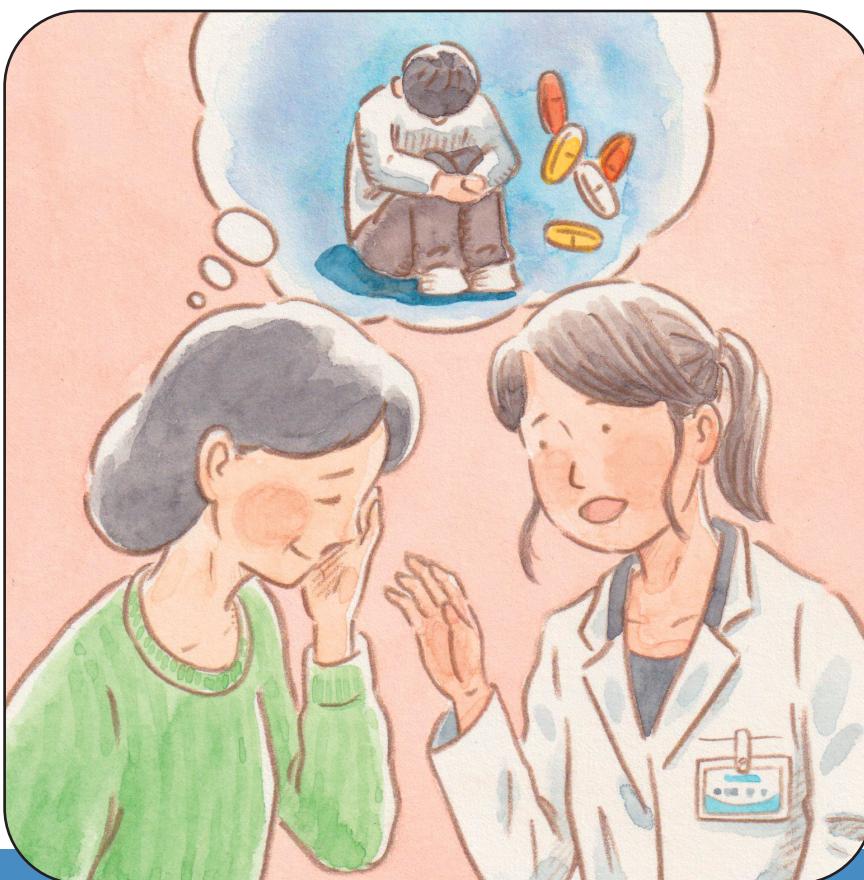
またPさんは統合失調症について、ゆう薬局の先輩に相談。経験豊富な薬剤師から、「家族会」の存在や行政の福祉課など、家族に必要なサポート情報を得て、患者さんにもフィードバック。ゆう薬局は府内に350人の薬剤師を擁し、最新の医療情報を共有・提供する態勢が整っているのです。

Pさんは今度の4月に「管理薬剤師」に昇格する。管理者として「患者さんもその家族もケアできる」「誰もが気軽に立ち寄れる」温かな薬局づくりを目指しています。

## 豆知識

### 統合失調症とは

幻覚や妄想、強い倦怠感などの症状が起こる病気。原因は不明。若い人の発症が多く、ストレスに起因するとも言われています。



\*管理薬剤師／薬局・店舗に配置される責任者で、調剤業務に加え、従業員の監督、医薬品の管理を行う。薬事法に基づき設置が義務づけられている。

ゆう薬局グループ本部・  
宇野薬局

☎075-771-1690(本部)  
📍京都市左京区浄土寺下  
馬場町106

もよりバス停は「錦林車庫前」